



9月お彼岸を過ぎ、ようやく涼しさを空気に感じられる日が来ました。グリラ参観詐欺のような1週間。申し訳ございませんでした。気温が下がればグリラ参観も、運動会も行ないます。ぜひお時間を作ってお越しください。

臼井幼稚園には色んなお子さんが在籍しています。特別に支援の必要なお子さんが年々増えているのは、当園のことばかりでなく、他園の園長先生方もそうおっしゃっています。そしてここ10年くらいのことで、クラスがなかなかまとまらない、というも頭を傾げて何故だろう？と不安視しているところです。

幼稚園の設置基準の第三条において、「1学級の幼児数は、35人以下を原則とする」と定められていて、臼井幼稚園については昨今30名を下回る人数です。さらに特別支援のお子さんのサポートのために各クラス最低1人は支援の先生が入っています。

先生がクラスの全員に話をしている時、「僕はね、」、「私は、」と自分の話を始めてしまい、担任が話したくても進まないことがあるのです。その子に悪気はなく、先生との1対1の関係を求めてくるのです。でも、担任が話そうとしているのに「僕ね、」と始まったらどうでしょう。困った子、気になる子、とのレッテルを貼られてしまうこともあります。

どうしてこの子はこのタイミングで「先生、先生」と求めたのでしょうか。この答えとも言えるものを上原文先生の文章に見つけられたので、保護者の皆さまにも関係のあることですので、そのまま記載させていただきます。

以下、上野先生の文章より

人間はもともと「集団の中でつながり合って生きる動物」です。けれど他の動物とは違い、人間は、集団に入る前の段階がとても重要です。この段階で「個・自我の安定」を得ることが必要不可欠で、これがないと、集団にうまく入っていくことができません。

「ありのままを受け入れてもらえる」

この受容があつてこそ、心の奥底が安定します。記憶に残らないこの時期の対応が人間の一生を決めると言っても過言ではないのです。～中略～心の安定を得られないまま成長してしまった結果、様々な問題が起きてしまっている気がしてなりません。

女性の社会進出とともに、子どもを小さいうちから保育園などに預け、集団の中で育てる傾向があります。これはみなさんのせいではなく、社会の構造が、母となった女性も働かなくては生活していけない社会構造に問題があると私は思います。そしてもうひとつは、スマホです。赤ちゃんにお乳をあげながらスマホをいじったり、子どもに話しかけられているのに、上の空で返事をしたり、「あとで」「待って」と子どもが二の次になってしまう。

心も成長していくものです。そこを踏み外すと、次の段階に進めず、あとあとまで影響するそうです。目の前のお子さんの情緒の成長と安定のための「受容」を、ご両親も、私たち保育者もしっかりとしていく必要があると感じています。

子どもは、自分だけが受容されたいのです。「先生（パパ、ママ）が僕を見てくれている」という安心感は気持ちを安定させます。安定すると、周囲が見えてき、他の子を思いやれるのはそれからとなります。

小学校以降、学級崩壊、不登校、ひきこもりなどが社会問題化しています。虐待もあとを絶たず、増加傾向にあります。心の発達が未熟なまま身体だけ成長してしまった子ども達の出している、やるせないSOSに思えます。子ども達の心の安全基地となれるように、子育てを一緒に考えていきましょう。悩みがあれば、いつでもお話しください。

（参考：世界文化社 pripriより上原文 社会保険福祉士）

*佐倉市の美術展に昨年度出展してみましたが、園児の作品の中から数点選び出すのが心苦しいのと、どうみても保育者の手が入っている作品に金賞がついているのを見て、嫌悪感を抱いてしまい、今年度はまた出さないことにしました。

*毎年梨狩りにご協力くださっていた出山梨園様が、梨の栽培を今年より中止するとのこと。幼稚園児の梨狩りにご協力くださる梨園が見つからないので、今年度より 梨狩りは中止します。

園長 志田裕美子

<年長組今月の目標>

健康・・目標に向かって友だちと協力し、運動する。
人間関係・・友だちを応援し、参加の気持ちを持ち、
協力する喜びを知る。
環境・・戸外遊びを通じて、季節の変化に気付く。
言葉・・自分の経験を発表する。
造形・・絵手紙、描画、壁面製作
音楽・・「はたけのポリカ」「ちびっこカウボーイ」
「やきいもグーチーパー」「涙と勝利と」
「トレロカモミロ」

今後も小学校の準備をしつつ、そら組 28 名のみんなと
今まで以上に明るく元気いっぱい過ごしていきます。
保護者の皆様も、どんな些細なことでも何かありましたら
いつでも仰ってくださいね。
いつもご協力いただき、ありがとうございます。

若槻 菜美

<担任から今月のメッセージ>

毎日暑く長い夏休みはいかがお過ごしでしたか？
夏休みが明けて「おはよう！久しぶり～！」と元気に登園し私のハグを全力で受けとめてくれる子もいれば、「あ
っという間だった～」「もうちょっと長かったらなあ」と
どこか寂しそうに優しくギュッとしながら正直な気持ちを
伝えてくれる子もいました。身体も心も成長し続けている
素敵なお兄さんお姉さんも、長い時間大好きな家族
と過ごした楽しい夏休みが終わってしまうとやっぱり寂
しいようで
「ママに会いたい」とシクシク涙を流す子も…。そうだ
よね。寂しいよね。と気持ちを受けとめつつ…2 学期も
安心して楽しく生活してもらえよう過ごしていきます！

「毎日が運動会ごっこ」の名の通り、毎日様々な競技
に没頭中です。今年もなかなかの暑さで全くと言ってい
い程園庭で運動会ごっこは出来ておらず、「今日こそリレ
ーやりたい～」「ちょっとだけでも～」と子ども達も嘆い
ています。もちろん子ども達の思いにも応えてあげたい
ですが、一人ひとりの安全第一なので仕方ありません。
その分！室内でも汗だくで、全力で気合いを入れて
取り組んでいます。

年長になると競技内容が少し複雑になってきます。だから
こそ、よく話を聞いて理解した上で自分だけでなく、
他の友だちのこともよく見ていないともうバツバツで
す。ほとんどの子はよく出来ているのですが、あれ？今
どこ見てるー？聞いているー？という子もチラホラ…私
たち大人が「次はここ！次は？」と伝えることは簡単で
すが、(つい言い過ぎてしまうのですが…)出来るだけみ
んなで声を掛け合って取り組んで欲しい！というのが今
の目標です。また競技だけでなく、自分のチームの応援や
点数が入った時、勝った時の喜び、負けて悔しい時など
様々な場面で自分だけではなく友だちに興味を持つこと
も大事な一つだと感じます。一人ひとりが運動会ごっこ
を通してまた更に成長し、クラスの団結力も高めて、
最後の運動会では一皮も二皮も剥けた格好良く素敵な
子ども達の応援をよろしく願いいたします！

あっという間に 2 学期に入り今まで以上に小学校に向
けて～の話が私からはもちろん、子ども達からも聞こえ
てくるが増えました。小学生になるという意識がそ
れぞれ始まってきているんだなと感心しています。

